

令和5年2月15日

'豊田章一郎大先輩を偲んで'

東山会関東支部顧問 藤田訓弘 (昭和40年卒)

2/14 豊田章一郎大先輩の訃報が飛び込んできた時、正直、自分の心臓も止まりそうになりました。実は2/16に東京で、私が事務局長を拝命している名大OB・OG有志の会'不老会'の第15回会食会があり、メンバーの中に章一郎大先輩と関係の深い名古屋在住のメンバーが3名おり、これは大変なことになったなと思った次第です。(その中の一人からはやはり欠席の連絡が来ました。)

東山会関東支部立ち上げを本部から要請を受け、約1年半掛けH19に第1回総会を立ち上げました。

H21の第3回総会の特別講演を章一郎大先輩にお願いすることになり、1月に豊田市のトヨタ自動車本社を表敬訪問しました。章一郎大先輩とは初対面でしたが私を温かく迎えて頂き、ご講演を快諾頂きました。その時、私は学生時代から尊敬していた土光敏夫さんが社長をしていた石川島播磨重工業(現IHI)に入社したことを話したら、章一郎大先輩は、'そう言えば藤田さんは土光さんにそっくりだなあ'と話され、初対面とは思えない和気藹々の雰囲気の中で初対面のご挨拶は終わりました。(添付写真参照)。

5月の第3回総会の時、参加者名簿をご覧になっていた章一郎大先輩が、「私が一番古手(S22卒の第5回生)だと思って居たら平野逸朗という大先輩(S17卒の第1回生)がおられるが、この方はどういう方?」とのこと。

私「え!平野逸朗先輩ご存知ないのですか!平野先輩は、名大基金に個人で一億円を寄附された方ですよ!関東支部立ち上げにも多大なご支援を頂いています。」

章一郎大先輩「え!その先輩、是非ご紹介して下さい!」

章一郎大先輩の講演も済み、懇親会へ移る時のスリーショット写真が添付のものです。

懇親会スタート前の時に、章一郎大先輩に、懇親会はいつまでお付き合い頂けますかとお伺いしたら、乾杯が済んだら失礼させて頂きましょかねということでした。

ところが、章一郎大先輩、一向に帰る気配がなく、秘書に大丈夫ですかねと聞いたら、秘

書曰く、あんなに楽しそうにしている名誉会長は見たことがないとのこと。

結局、章一郎大先輩は、懇親会の最後までお付き合い頂きました。

翌 H22 年 1 月の名古屋での東山会総会の特別講演も章一郎大先輩にお願いしたことになりますが、今となっては懐かしい思い出です。

(因みに、章一郎大先輩からは、私は偶には名古屋駅前のトヨタビルに居ることあるので、藤田さんは名古屋へ良く来られることがあるようですから、来られた時には声を掛けて下さい。秘書にその旨伝えておきますとのことその後 2 回ほどそこでお話しさせて頂きました。勿論、ノーアポイントです)

章一郎大先輩、長々の有難いお付き合い、ご高配、ご指導、ご支援有難うございました。

どうぞ安らかにお眠り下さい。

合掌



豊田市のトヨタ自動車本社を表敬訪問(H21/1), 東山会関東支部第 3 回総会(H21/5)